

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊼ 施政方針			
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・市政運営の基本となる自主財源である市税等の確保を図る。 ・持続可能な保険制度の維持確立。 ・市政への市民参画及び市民活動を促進するとともに、男女共同参画社会の形成を目指す。 ・すべての人が人間として尊重され、生きていく権利が保障されなければならない社会を築きあげるため、様々な人権施策を展開する。 	1. 同志社大学・女子大学との連携事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が持つ知的資源のまちづくりへの活用を目的とする。特に体育会クラブや理系学部が集約している京田辺キャンパスの特徴を生かした事業を行う。 ①まちづくり調査研究 ②スポーツコミュニケーション ③サイエンスアカデミー 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度まちづくり調査研究事業の進行管理(中学生に対する食育に関する共同事業)する。 ・大学各クラブによる市内中学生への各種スポーツ教室等を開催する。 ・小中学生を対象とした理科実験、工作教室を開催する。 	34	<ul style="list-style-type: none"> ・同志社女子大学生活科学部小切間教授及び本市学校環境整備課で食育推進冊子の共同制作を行うにあたり両者の調整を図り、冊子を完成させた。また、完成にあたっては成果発表会を実施した。 ・市内中学校の部活動を対象に12月9日に同志社大学硬式野球部との野球教室を開催(参加者36名)、3月3日に同志社大学サッカー部とのサッカー教室を開催した。(参加者62名) ・また、10月20日には硬式野球部及びサッカー部のそれぞれの公式戦に係る観戦ツアーを開催した。(参加者:野球25名、サッカー29名) ・同志社大学理工学部と共催で7月28日に同志社大学サイ 	A	
	2. 第2次京田辺市男女共同参画計画(改訂版)に基づく新規啓発講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の改訂に伴い平成28年度から開始した啓発講座を充実させ、男女共同参画に対する市民意識のさらなる向上を目指す。 →男女いきいき・さんかくセミナー講座参加者90人(30人×3回) →ポケット講座講座参加者60人(10人×6回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした男女共同参画推進講座を開催する。 ・女性交流支援ルーム講座(ポケット講座)を開催する。 	31	<ul style="list-style-type: none"> ・男女いきいき・さんかくセミナー(3回シリーズ)を開催し、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて市民への啓発を行った。(参加者数:66人) ・女性交流支援ルームにおいてポケットサロンを6回開催(1回中止)し、友だちづくり、起業、ライフプラン、性的マイノリティなど幅広いテーマで男女共同参画の視点に立った啓発事業を行った。(参加者数:第2回3人、第3回7人、第4回12人、第5回5人、第6回10人) 	A	

※【目標の達成度の区分:A達成できた、B目標達成に向け事務を進めている、C下半期に実施、D達成困難】

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定							
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊼ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	3. 市民税未申告者への申告勧奨(臨戸訪問)	・申告書の郵送及び臨戸訪問の実施により、未申告者への申告を促し、公正な課税を行う。	・未申告者を抽出する。(7月) ・申告書を発送する。(8月) ・臨戸訪問を実施する。(10月)		9月に、未申告者132人に対して、申告書を郵送し、申告を勧奨した。 その後、10月～11月に未申告者82名を対象に臨戸訪問を実施し、申告勧奨を行った。	A	
	4. 国保特別会計の歳出抑制の取組み	・医療費の抑制と被保険者の自己負担の軽減を図る。	・ジェネリック医薬品差額通知及び効果検証を行う。		・ジェネリック医薬品差額通知発行者・・・延べ1,900名 ・ジェネリック医薬品普及率(数量)・・・70%(国の目標値:80%)	B	・被保険者への差額通知を継続する。 ・ホームページ等で、利用促進を促す。
	5. マイナンバーカード交付の円滑化	・全市民の15%の方に対してマイナンバーカードの交付を目指す。	・広報紙、HPで周知し、また日曜日(月に1回)にも交付窓口を開設することにより、推進を図る。		7993/69662 11.47%	B	コンビニ交付を開始するにあたり、マイナンバーカードの必要性を広報していく。

※【目標の達成度の区分:A達成できた、B目標達成に向け事務を進めている、C下半期に実施、D達成困難】

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定							
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊼ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	6.市民への人権意識の普及	・人権意識の普及のため、市民への展開は不可欠	・ヒューマン映画上映会 ・人権問題研修会 ・わくわくワークショップ ・ハートフルフェスタ ・犯罪被害者支援講演会 ・その他各種啓発事業	10	ヒューマン映画上映会 来場者数:63名 人権問題研修会(2日間) ・参加者394名 わくわくWS・FW ・参加者31名 ハートフルフェスタ ・来場者350名 犯罪被害者支援啓発事業 ・ホンデリング事業 回収数 4,654冊 寄付額 70,278円 ・講演会 来場者60名	A	

※【目標の達成度の区分:A達成できた、B目標達成に向け事務を進めている、C下半期に実施、D達成困難】